



高田 浩司 議員

### 津波や高潮対策

#### 問

①森・本郡・尾崎海岸にかけて、巨大地震による津波対策や台風時の高潮対策は。

②洪水防止の河床整備は。

#### 答

上坂道路河川課長

①県では震災以降、港湾施設や海岸施設の耐震調査、老朽化調査や海岸における海溝部調査を実施している。

また、県はこれらの結果により、順次施設の液化対策や耐震補強を実施していく方針で、津波被害の危険性を考慮し、緊急性の高いところから、必要な対策に取り

組む予定である。

離岸堤は、海岸から150m沖に高さ3・4mで配置すると、護岸の必要高さは、プラス6mとなり、1・4m低くできるとの調査結果が出ており、今後の詳細な調査及び検討により、工法を決定する計画である。

既設の護岸は、施工後40年以上経過し、一部老朽化が見られ、護岸の高さも不足していることから、今後対策が必要とされ、今後対策が必要とされておられ、施設の液状化対策や耐震補強の進捗状況を見きわめながら、早期事業再開に向けて取り組んでいきたい。

#### 答

久保産業建設部長

②河川内の堆積土砂の取り除きや除草、立ち木処理が有効で、管理者である県が行うが、限られた予算のため、要望どおり実施できていない。

今後は、地域住民の意見を吸い上げ、どのよう

な対策ができるか検討し、県に対し強力に要望・要請していきたい。

### 公共下水道の整備推進

#### 問

森川水域の水質改善や、快適で衛生的な生活環境を保全するための早急な整備を。

#### 答

長尾水道部長

公共下水道工事の認可区域は、中村・森・本郡地区では、市道尾崎中村線沿いの尾崎地区と本郡地区の境界まで、国道378号線沿いでは北山崎周辺までで、今後の認可区域の拡大に併せて順次整備する予定である。

下水道整備区域外の三秋地区は、浄化槽設置整備事業の個人設置型で対応する。  
森・八倉・宮下・上野地区には水源地があるが、下水道は全ての地区が未整備で、水源地では、毎

年水質調査を行っているが、過去の水質と、ほとんど変化は見られない。水源地の水質保全の重要性は十分理解しており、できるだけ早く下水道整備を行いたい。



森川の下流 (伊予市森)

### 子育て支援の強化

#### 問

①時間外保育や夜間・休日保育の導入としては。  
②子ども手当を市単独で増額しては。

#### 答

武智市長

①本市の子育て支援施策は、月曜日から金曜日の午前7時から午後7時ま

での延長保育を、ぐんちゅう・とりのき・うえの保育所で実施し、さくら幼稚園は土曜日も午前7時から午後6時まで実施している。

休日保育は、保育所での実施はなく、ファミリー・サポート・センターに会員登録することで有償利用ができる。さらに、家庭での保育が一時的に困難となった場合の一時保育促進事業を、ぐんちゅう保育所で実施している。

今後も、子育てに関するニーズの多様化に 대응されるよう環境整備を図りたい。

②本市の24年度の給付総額は、5億9302万5000円であり、財源内訳は、国が69%、県が15%、本市が16%の9569万円の負担割合であり、さらに単独分を増額して支給することは、財政上の問題もあり、極めて困難である。